



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和5年6月8日) 第6号

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## 2年生 トライやる・ウィーク



5月29日(月)から6月2日(金)まで(※最終日は大雨警報発令のため中止)は2年生の「トライやる・ウィーク」でした。八鹿青溪中学校の生徒たちは30事業所に分かれて活動をさせていただき、学びのある有意義な期間を過ごすことができました。お世話になった事業所の皆様に心より感謝申し上げます。

〈お世話になった事業所〉 ※敬称略

- ・公立八鹿病院 ・公立八鹿病院老人保健施設 ・日光認定こども園
- ・養父土木事務所 ・ゴダイドラッグ八鹿店 ・養父市立八鹿小学校
- ・(株)GEOソリューションズ養父技術所 ・養父市役所 ・八鹿酒造(有)
- ・小規模多機能型居宅介護はちぶせの里ようか ・養父市立小佐保育所
- ・有限会社 五光 ・(株)谷常製菓 ・八鹿鉄工(株) ・県立但馬農業高校
- ・社会福祉法人さつき福祉会たんぽぽワーク ・養父市学校給食センター
- ・社会福祉法人たいようこども園 ・デイサービスセンター妙見荘
- ・(株)オーシスマップ ・養父市立伊佐こども園 ・カフェレストランベリッタ
- ・養父市立宿南こども園 ・ベーカリー&パリ食堂マルシェ
- ・認定こども園童和こども園 ・但馬オート株式会社 ・(株)西村交益社
- ・つるぎが丘公園ようか温水プール&健康支援施設 ・道の駅ようか但馬蔵
- ・国土交通省八鹿国道維持出張所



出発前の「立志式」の様子



「トライやる・ウィーク」は1997年に起きた神戸連続児童殺傷事件の容疑者が中学生であったこと等をきっかけに創設された事業です。子どもは学校だけではなく、保護者や地域との連携の中で育てていくものであるということが県内外に広く示され、創設当時には全国から多くの視察団が兵庫県に訪れたものでした。以後、兵庫県の中学生は、挨拶・返事の大切さ、周囲の人との協調性、仕事に対する責任感…。人として生きていく上での重要な事柄を、この活動を通じてたくさん学んできた振り返ります。

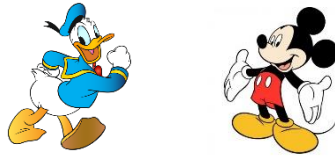
## 1年生 わくわくオーケストラ教室



6月1日(木)、1年生が西宮市の県立芸術文化センターで開催された「わくわくオーケストラ教室」に出かけました。この事業は、2年生の「トライやる・ウィーク」とともに、「兵庫型『体験教育・キャリア教育』」として行われており、管弦楽団による参加型鑑賞教室を指します。兵庫県下のすべての中学1年生がこの施設で管弦楽を鑑賞するわけですが、素晴らしい音響設備がプロ楽団の演奏をより一層引き立てます。きっと生まれて初めて管弦楽を“生”で鑑賞したという生徒も少なくなかったのではないのでしょうか。なお、当日は、三田市にある県立人と自然の博物館にも立ち寄って見聞を広げました。



# 3年生 修学旅行



3年生が、5月31日(水)から6月2日(金)まで東京・千葉方面へ修学旅行に出かけるという予定で八鹿を出発しましたが、台風2号接近に伴う豪雨の影響で帰り(旅行3日目)の新幹線が静岡県の三島駅で緊急停止、そのまま運転中止になってしまい、急遽6月3日(土)までの3泊4日の行程となりました。これは八鹿青溪中学校史上初めての出来事ですが、生徒たちは、新幹線が緊急停止した後も、常に明るい笑顔で過ごしてくれました。「よく頑張ってくれた」と褒めてやりたい気持ちでいっぱいです。



## <1日目>

- ・東京ディズニーランド班別行動

## <2日目>

- ・上野公園班別学習
- ・劇団四季鑑賞
- ・東京スカイツリー見学



## <3日目>

- ・国会議事堂見学
- ・浅草寺周辺散策



※新幹線14:03東京駅発

- ①14:47 静岡県三島駅で緊急停止 ②17:00 新幹線を新大阪駅止まりにするとアナウンス
- ③20:50 新幹線の運転中止とアナウンス ④21:30 新幹線、東京駅へ引き返しとアナウンス
- ⑤22:00 新幹線、東京駅に向けて出発 ⑥23:40 新幹線、東京駅に帰着 ⑦24:00 列車ホテル泊

## <4日目>

- ①8:00 列車ホテル終了 ②新幹線の復旧正午頃まで不可能とアナウンス
- ③9:00 東京駅近くのビルの2室を借りて待機 ④12:00 東京駅に戻って乗車準備
- ⑤12:48 東京発広島行新幹線に乗車 ⑥17:15 新幹線が姫路駅に90分遅れて到着 ⑦19:00 学校帰着



この間、生徒たちは不平不満の声を漏らすこともなく、冷静に私たちの指示に従ってくれました。その態度に引率の教員たちはとても勇気づけられたというのが事実です。幸い、大きな心身の不調を起こす生徒は出ませんでした。実際には生徒たちはたいへんな苦しみを感じていたものと思います。(涙)

## 6月の「草庵先生の教え」

6月は、「学(まな)ぶ者(もの)は、事(こと)を厭(いと)い 勞(ろう)を辞(じ)すべからず」(学ぶ者は仕事や働くことを嫌がってはいけない)を合言葉に学校生活を送っていきます。具体的には、日常の営みである家での手伝いや学校での清掃、当番・係活動などに進んで取り組み、それをけっして嫌がらずに行わなくてはならないという意味です。夏本番に向けてたいへん暑くなってきましたが、八鹿青溪中学校の生徒はこの教えを念頭に置いて生活してくれています。

**6月** 校訓 **貫徹 慎独 創造**  
こと いと

**学ぶ者は、事を厭い**

し

**勞を辞すべからず**

学ぶ者は仕事や働くことを嫌がってはいけない。

